



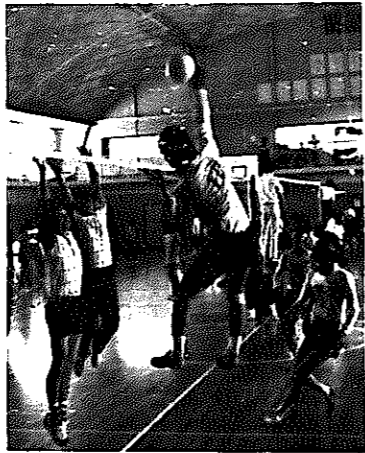
◆気軽に呼び止めてネノ  
新鴻しんきんが  
広報車をプレゼント

六月二十四日、「市の広報広聴活動に役立てて」と新鴻信用金庫から市へ、広報車がプレゼントされました。

これは、同金庫が誕生してから五十年を迎えた記念に贈られたものです。

白地にあずき色のツートンカラー。高性能の放送設備を備えたライトバンです。

町で見かけたら、話題の提供などお願いします。



◆若さが爆発—青年体育大会

六月十八日、青年体育大会が白根高校体育館をはじめ四会場で行われました。(試合成績) (優勝チームのみ) 野球—根岸地区青年団 バレーボール(男子)—庄瀬地区青年団(女子)—鷲巻地区青年団 卓球—庄瀬地区青年団

# ヒックス

## ▼交通安全パレード—新飯田小

「交通事故の撲滅に少しでも役立てば」と、新飯田小学校の児童による交通安全パレードが、6月16日行われました。

ドライバーのみなさん、かわいい子どもたちの願いを無にしないよう、安全運転に心がけてください。



◆ありがとう—  
おじいちゃん、おばあちゃん!

「かわいい子どもたちが、安心して遊べるように」と、老人クラブのみなさんが、児童公園をきれいにしてくれました。

この清掃奉仕活動は、三年前から始められているものです。暑い中を本当にご苦勞様でした。

## 救急法講習会

救急法の講習会が、2日間開かれます。

とっさの事故に備え、あなたも応急手当の知識と技術を身につけてみませんか。

- とき 7月23日・30日 午前9時から午後3時
- ところ 青年教育センター
- 講習内容 人工呼吸、三角布による手当、子どもの急病など日常生活に役立つもの
- 受講料 無料
- 募集定員 50人(先着順)
- 申し込み 7月20日までに福祉事務所庶務係(☎72111③307)へ

## 今月の停電

- 7日—午前8時半から正午まで 上道湯、下道湯、蔵主、平湯、平湯新田。沖新保、飯島新田、上木山の各一部
- 14日—午前8時半から正午まで 東笠巻新田の半分。西笠巻新田の一部
- 21日—午前8時半から午後1時まで 下山崎、山崎興野、高井興野。根岸の大部分
- 28日—午前8時半から午後1時まで 北田中、高井団地。根岸の一部

## おとしもの

白根警察署(☎72121)へ連絡を—

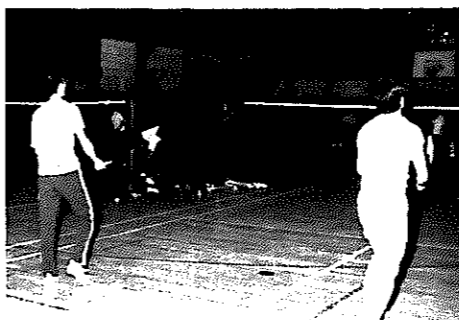
- ▶5月2日 現金(1万円)—中央通り
- ▶4日 腕時計—能登
- ▶8日 腕時計—二の町
- ▶9日 腕時計—下山崎
- ▶14日 現金(1万円)—魚町
- ▶16日 現金(1万円)—新飯田
- ▶27日 財布(4,873円)—三の町

このほか、自転車2台があります

## グループ登場

## 小さなシャツルを追いかけて

### 白根市バドミントン連盟



今、静かなブームを呼んでいる「バドミントン」。小さなシャツルを追いかけ激しく動きまわっている白根市バドミントン連盟(会長—荒井誠一さん)のみなさん。

会員数は三十二人(女五人)。練習日は毎週水曜日(第一中学体育館)、金曜日(教育委員会体育館)の夜七時三十分から。

練習日の体育館は、若さと熱気があふれています。

バドミントンというと、アー羽つきかと思う人が多いようですが、見るとやるとではおちがいが。かなり激しいスポーツです。

でも、男女、年齢を問わずにだれでも楽しめるのも確かです。

「みんなが楽しみながらできるということが、いちばん大切ではないでしょうか」と、会員の野川彰夫さん。

今後、バドミントンを一般的なスポーツにしていくには「底辺の

拡大が、いちばん必要ではないでしょうか」と、同会では話しています。

興味のある人は気軽に会場へ。

### 【会員の声】



横山 信一さん

友だちに誘われて入ったんですけど、やっぱりバドミントンはいいですね。

好きな者同志でやっているから本当になごやかな雰囲気ですよ。

## 化け物語り

ある山中に一けんの家がありました。

この家にはふしぎな化け物がでて、何十人となく人がすみかわります。

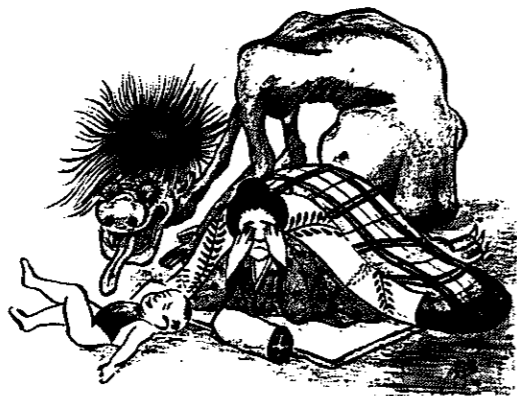
そこでまたある人が借りました。

何のかわったこともないから、一か月もたつて、亭主は家内をのこしてとまりがけに出ました。

するとその晩夜の十二時頃血なまぐさき風がふき、うらの雨戸をあけて、そろそろねまの方へまえます。

かかはおそれながら、よきの袖からみると、目は平はちのようで、口は耳までさげ、鼻は一斗だるで、かみの毛ははりがね。

あまりおつかのうて、夜具のなかへもぐりますと、化け



行きました。

サ、毎晩毎晩こうですから、かかはまっさおになつて居る所へ亭主はかえりました。



文…木下牛太郎  
え…伊藤栄一

さて、かかは一部始終を物語れば、

「よし」と、刀など用意して、亭主はその晩まっていた。

するとまた、十二時頃になると血なまぐさき風が吹いてきました

「なるほど、ほんとうだ」と思っている、ねまへはいつてきました。

「うぬ」と、刀をぬいでみたら、あまりのこわさに手も足もいりません、そのままつぶしました。

どうにかして正体を見とどげんと翌晩、そろっと化け物のかえるあとをしようてゆきますと、だんだんお山にゆきまして、その大きな石ひをはね起こし、うめ立ての死人をとりだし、またも赤子同様にからだ中、のこる所なくなめつくしました。

さて、その次の晩またきて今度はさしきの押し入れから夜具を取り出してねました。すると亭主は持った刀で背中をさします。

妻は喜んで、夜具をまくりますたが、何もありません。へんなことがあればあるものと、夜のあくるをまつて、そのさしきのそうじをしますと、一枚の金のたんざくがあつて、まん中に刀きすがありません、その表に

「おにならば、ただ一口にくうべきに、なめてかえすは、はなしなすりけ」。